

熟練の名指揮者
ヨエル・レヴィのバルトーク
ヴィヴィアン・ハーグナーの
魂を揺さぶるブラームス

2018

10/12金

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

午後7時開演 (午後6時開場)

Friday, October 12, 2018 / 7:00PM

Kyoto Concert Hall

©伊藤菜々子

©Timm Kölln

京都市交響楽団

第628回 定期演奏会

The 628th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

開演前 (午後6時30分ごろから) は
指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上に開催します。

指揮 **ヨエル・レヴィ**

Conductor: Yoel Levi

ヴァイオリン **ヴィヴィアン・ハーグナー**

Violin: Viviane Hagner

モーツァルト: 交響曲第32番ト長調 K.318

ブラームス: ヴァイオリン協奏曲ニ長調 op.77

バルトーク: 管弦楽のための協奏曲

Mozart: Symphony No.32 in G major K.318

Brahms: Concerto for violin and orchestra in D major op.77

Bartók: Concerto for orchestra

入場料 **S ¥5,000** **A ¥4,500** **B ¥3,500** **P ¥2,000** (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券 & 後半券 **S ¥2,000** **A ¥1,500** **B ¥1,000**

※学生券は開演1時間前から (学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了 (後半開始) まで発売 (学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約) をご利用ください。
(お子様お1人につき1,000円/2018年10月5日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引 (10%OFF) があります。
京響 (075-711-3110) までお問い合わせください。

プレイガイド (電話予約)

- 京都コンサートホール… (075) 711-3231
- ロームシアター京都… (075) 746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ… (0570) 02-9999 Pコード349-201
- ローソンチケット… (0570) 000-407 Lコード58096

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 711-3110 <https://www.kyoto-symphony.jp/>

京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

©未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ©都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



文化庁文化芸術振興費補助金
助成: (舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

京都市

協賛: **ローム株式会社**

協力: 株式会社ドルチェ楽器

後援: (株)エフエム京都

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



京都市交響楽団 第628回定期演奏会

The 628th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

幅広いレパートリーを誇り、欧米はもとより韓国でもKBS響音楽監督兼首席指揮者を務めるヨエル・レヴィが指揮に登場。オーケストラの各楽器をソロのように扱ったバルトーク晩年の傑作を、熟練のタクトで聴かせます。知性と技巧、情熱を兼ね備えた逸材ヴィヴィアン・ハーグナーが精魂込めて歌い上げる古今東西の名曲の最高峰、ブラームス唯一のヴァイオリン協奏曲も絶品！

指揮

ヨエル・レヴィ

Conductor : Yoel Levi



©K.Abosch

ルーマニア生まれ、イスラエル育ち。テル・アヴィヴ音楽院に学んだ後、エルサレム音楽院でメンディ・ロダンに師事した。さらに、シエナとローマでフランコ・フェラーラに、オランダでキルル・コンドラシンに師事、ロンドンのギルドホール音楽院でも学んだ。1978年にプザンソン国際指揮者コンクールで第1位を受賞。フリーヴランド管弦楽団で6年にわたりロリン・マゼールのアシスタントと同団の常任指揮者を務めた後、1988年～2000年にはアトランタ交響楽団の音楽監督として活躍した。その後ヨーロッパでも2001～07年にブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者を務めた後、2005年にはイル・ド・フランス国立管弦楽団の首席指揮者に就任。2012年までの在任中、パリをはじめとするイル・ド・フランス地域での定期的な公演のほか、スペイン、東欧、ロンドンなどへの国外ツアーも積極的にを行い、メディアからはヨーロッパで最も精力的で活発なオーケストラと賞賛された。2014年からは、韓国のKBS交響楽団の音楽監督兼首席指揮者を務めている。客演も多い。欧米やアジア各国の主要オーケストラを指揮し、北米においては、ニューヨーク・フィルおよびボストン響、フィラデルフィア管、フリーヴランド管、シカゴ響、ロサンゼルス・フィル、サンフランシスコ響、ミネソタ管、トロント響、モントリオール響などと共演した。また、イスラエル人として初めてイスラエル・フィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者に迎えられ、米国とメキシコへのツアーを行ったほか、イスラエル建国60周年を記念したコンサートにも出演。オペラにも積極的に、1997年にフィレンツェ市立歌劇場のプッチーニ《西部の娘》でオペラデビューして以来、ビゼー《カルメン》、ヤナーチェク《マクロプロス事件》、モーツァルト《魔笛》《後宮からの誘拐》、バルトーク《青ひげ公の城》、ヴェルディ《椿姫》、プッチーニ《トスカ》《蝶々夫人》、プーランク《カルメル会修道女の対話》などを指揮している。

ヴァイオリン

ヴィヴィアン・ハーグナー

Violin : Viviane Hagner



©Timm Kölln

ミュンヘン生まれのヴィヴィアン・ハーグナーは、その知的な音楽性と情熱的な芸術性で高く評価されている。12歳で国際デビューを果たし、テルアビブで行われたイスラエル・フィルとベルリン・フィルの伝説の合同演奏会（ズービン・メータ指揮）に出演して以来、その演奏には深みと成熟度が加わり、一段と輝きを放っている。これまでにベルリン・フィル、ボストン響、シカゴ響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管などと、アシュケナージ、パレンボイム、エツェンバツハ、サロネンをはじめとする著名指揮者たちと共演、活躍を続けている。また、新作や埋もれていた作品にも積極的に取り組み、ウンスク・チンがハーグナーのために書いたヴァイオリン協奏曲を2002年にケント・ナガノの指揮でドイツ交響楽団と世界初演し、以後ヨーロッパ各地、アメリカ、ブラジルで演奏している。室内楽演奏にも熱意をもって取り組んでおり、アムステルダム・コンセルトヘボウ、ベルリンのコンツェルトハウス、ロンドンのウィグモア・ホールなどのコンサート・ホールに定期的に出演している。また世界各地の音楽祭でも演奏しており、これまでにザルツブルク・イースター音楽祭などから招かれている。演奏活動だけでなく、すべての年齢層に向けたアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいる。意欲に満ちた若い音楽家たちに、世界の一流アーティストと共に過ごし、リハーサルをし、演奏する機会を提供することを通して、意見や文化の交流を図ることを目的とした画期的な音楽祭、Kryżowa-Musicを創設し、その芸術監督を務めている。ベルリンに居住。2013年よりマンハイム音楽・舞台芸術大学教授。



©伊藤菜々子

京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドバイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーと京都市内で「ふらっとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2018 8/26(日)から発売!

❖ 次回予告 ❖

2018 9/22(土)から発売!

第629回定期演奏会

偉大なる巨匠ラザレフ、待望の再登場!
郷愁のロシア音楽～グラズノフ&ボロディン

日時: 2018年11月17日(土) 午後2時30分開演
2018年11月18日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール
指揮: アレクサンドル・ラザレフ
曲目: グラズノフ: バレエ音楽「四季」op.67
ボロディン: 交響曲第2番短調

特別演奏会「第九コンサート」

下野竜也、平和を謳うベートーヴェン「第九」
衝撃のシェーンベルク「ワルシャワの生き残り」とともに

日時: 2018年12月27日(木) 午後7時開演
2018年12月28日(金) 午後7時開演

会場: 京都コンサートホール
指揮: 下野 竜也 (常任首席客演指揮者) 合唱: 京響コーラス
独唱: 吉原 圭子 (ソプラノ) 小林 由佳 (メゾソプラノ)
吉田 浩之 (テノール) 宮本 益光 (バリトン)
曲目: シェーンベルク: ワルシャワの生き残り op.46
— 語り、男声合唱と管弦楽のための (語り: 宮本益光)
ベートーヴェン: 交響曲第9番二短調「合唱付」op.125



©山口敦



©Naoya Yamaguchi

日本語
字幕付

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

入場料 S ¥5,500 A ¥4,500 B ¥3,500